

「知・地域共創コンテスト2025」一次審査結果・キックオフイベント開催

◆アピールポイント	・7月4日市長定例記者会見で発表の「知・地域共創コンテスト 2025」一次審査を通過企業11社を決定しました。 ・一次審査通過企業と提案のあった社会課題の所管課（以下「課題所管課等」）で「共創チーム」を作り、実証実験計画の作成・検討を行います。また、「共創チーム」によるキックオフイベントを開催します。
◆内容など	■一次審査の結果 ・静岡市は、スタートアップの「新たな知」と地域の団体・コミュニティなどの「地域社会の大きな力」の共働による社会課題を解決する新しい社会システムづくりを促進するため、2024年から「知・地域共創コンテスト」を開催しています。 ・市が提示した、18項目の社会課題又はスタートアップが考える社会課題に対し、市や地域団体等とスタートアップが共働で解決を目指す共創事業提案を募集しました。 ・市内外のスタートアップから、207件の応募をいただき、実証実験計画の作成・検討を行う事業提案、一次審査通過企業11社を決定しました。 （※別紙「一次審査通過企業一覧」を参照） ・11月7日に開催予定の公開プレゼン形式による二次審査会に向け、一次審査通過企業と課題所管課等※による「共創チーム」は、実証実験計画の作成・検討を行います。 ※チームには、課題所管課だけでなく、その他関係課、地域の協力団体等が参加する場合があります。 ■キックオフイベント ・「共創チーム」のキックオフ（一次審査通過企業と課題所管課等が参加）と課題テーマ・提案概要に関するワークショップを実施します。 日 時：令和7年9月10日（水）10時30分から17時15分 会 場：B-nest 6階プレゼンテーションルーム（葵区御幸町3-21） ■キックオフイベントの取材について ・取材いただける場合は、当日会場までお越しください。 【参考】知・地域共創コンテスト（UNITE2025）について 公式WEBサイト https://shizuoka-city.eiicon.net/unite2025/

別紙資料 有（一次審査通過企業一覧）

ぜひ、キックオフイベントの取材をお願いします。

【問合せ】

産業政策課（清水庁舎5階）

スタートアップ支援係 担当 田中、木下、遠藤

電話 054-354-2313

NO.	課題テーマ	企業名	提案概要	所管課名
1	【スポーツ健康】 運動未実施層への運動習慣の定着促進	LOOVIC株式会社 (神奈川県横浜市)	空間認知DXプラットフォーム×音声データ連携技術による、日常動線に統合した運動機会創出のためのパーソナル運動ガイドの仕組み	スポーツ振興課 (観光交流文化局)
2	【福祉・医療】 中山間地の高齢者等の医療アクセス維持のための遠隔医療提供体制の確立	株式会社アイティ・イニシアティブ (静岡県三島市)	TV、スティックPC、マイナ保険証を活用した遠隔診療システムの構築と、処方箋の郵送対応等により、通院負担を軽減する仕組み	保健衛生医療課 (保健福祉長寿局)
3	【環境】 持続可能な家庭ごみの収集運搬体制の構築、山間地における資源循環の仕組み構築	小田急電鉄株式会社 (東京都渋谷区)	家庭ごみの収集支援システムによる収集状況のデータ化・可視化と、新たに導入する収集業務の最適化処理システムを掛け合わせることで、収集運搬体制を自動で最適化するモデルの構築	収集業務課 (環境局)
4	【環境】 伐採跡地における循環林の促進	株式会社エンドファイト (茨城県稲敷郡阿見町)	幅広い植物の生育をサポート可能な植物内生菌「DSE (Dark-Septate Endophyte)」を活用した高機能苗木による高収益な再生林・育林循環モデルの構築	森林経営管理課 (環境局)
5	【農業】 稼げる有機農業モデルの構築	株式会社坂ノ途中 (京都府京都市)	担い手確保・育成、消費拡大、地域内流通を実現するための研修・販売ネットワーク・自社の受発注・販売管理ツールを活用した生産から販売までの仕組みづくり	農業政策課 (経済局)
6	【農業】 静岡市のお茶が持つ強みを活かした輸出促進	ShipMate株式会社 (北海道上川郡鷹栖町)	グローバル市場との距離感や輸出手続きの煩雑さなどの課題を克服し、静岡市のお茶の簡便な輸出を実現する、次世代越境EC及び日本郵便との物流連携サービスの構築	農業政策課 (経済局)
7	【都市基盤】 市内の建設産業の持続性を支える、新たな担い手層の獲得促進	株式会社クアンド (福岡県北九州市)	AIと遠隔支援技術を活用したシステムによる、建設現場(監督業務)の効率化と熟練者の知見や技術の蓄積・デジタル化のモデル構築	技術政策課 (建設局)
8	【都市基盤】 下水汚泥の持続可能な地域資源化と利用促進	株式会社Quantaris Lab (東京都町田市)	下水道汚泥の消化プロセスで発生する消化液を活用して、無臭・無色・成分安定型の濃縮バイオ液体肥料を作製する技術と、環境貢献度・資源価値の可視化による地域資源循環モデルの構築	下水道計画課 (上下水道局)
9	【防災】 災害時に自力避難が困難な要支援者に対する最適な避難支援体制の構築	株式会社 建設システム (静岡県富士市)	自社の総合防災アプリ(安否確認・ハザードマップ・備蓄管理機能)を基に、避難支援者名簿や個別避難計画・福祉避難所リストをデータベース化、要支援者・支援者・行政を情報でつなぎ、災害時の支援をフォローする仕組み	福祉総務課 (保健福祉長寿局)
10	【まちづくり】 "美しく質の高い公共空間の形成と持続可能な維持管理	鈴田峠農園有限会社 (長崎県大村市)	パッションフルーツとIoTを活用したシェード型緑化による暑熱対策(都市緑化モデル)の構築	景観まちづくり課 都市計画課 (都市局)
11	【自由応募枠】	合同会社つばめ制作社 (静岡県静岡市)	蒲原・由比地区の空き家を、地域事業者の社宅化することで、仕事をベースにした転入を増やし、住み替えによる転出防止や外国人材の住まいの確保と生活をサポートするための仕組み	住宅政策課 (都市局)